

第4章

施工チェックシート

チェックシート一覧表

章	節	ページ	機 器 名
第4章 主ポンプ設備工事	第1節 主ポンプ設備	1-1-1	横軸渦巻ポンプ
		1-1-2	立軸渦巻ポンプ (2床式)
		1-1-3	横軸斜流ポンプ
		1-1-4	立軸斜流ポンプ
		1-1-5	減速機搭載型立軸斜流ポンプ
		1-1-6	全速全水位先行待機形立軸斜流ポンプ
	着脱式水中モータポンプ	1-2-1	着脱式水中汚水ポンプ(口径150mm以上)
		1-2-2	着脱式水中汚水ポンプ(口径150mm未満80mm以上)
		1-2-3	吸込スクリュ付水中ポンプ
	弁類	1-3-1	電動バタフライ弁
		1-3-2	電動仕切弁
		1-3-3	逆止め弁
		1-3-4	フラップ弁
	歯車減速機	1-4-1	平行軸歯車減速機
		1-4-2	遊星歯車減速機
		1-4-3	立軸傘歯車減速機
		1-4-4	流体継手付傘歯車減速機 (充排油形)
		1-4-5	流体継手付傘歯車減速機 (可変速形)
	電動機	1-5-1	電動機 (主ポンプ用)
		1-5-2	始動制御器
		1-5-3	始動抵抗器 (金属抵抗器)
		1-5-4	始動抵抗器 (液体抵抗器)
	ディーゼル機関	1-6-1	ディーゼル機関 (主ポンプ駆動用)
		1-6-2	横形二軸式ガスタービン (主ポンプ駆動用)
	補助機器類	1-7-1	給水ポンプ (片吸込み渦巻ポンプ)
		1-7-2	給水ポンプ (水中モータポンプ)
		1-7-3	給水ポンプ (着脱式水中モータポンプ)
		1-7-4	真空ポンプ
		1-7-5	始動用空気圧縮機
		1-7-6	始動用空気槽
		1-7-7	燃料小出槽
		1-7-8	高架水槽
	第2節 燃料貯蔵設備	1-8-1	燃料貯留タンク (地下式)
		1-8-2	燃料貯留タンク (地上定置式)
第5章 天井クレーン等 設備工事	第1節 天井クレーン等設備	2-1-1	普通形天井クレーン
		2-1-2	ホイスト式天井クレーン (ダブルレール)
		2-1-3	ホイスト式天井クレーン (シングルレール)
		2-1-4	テルハ(電動横行形)
		2-1-5	テルハ(鎖動横行形)
		2-1-6	テルハ(電動横行形電気チェーンブロック)
		2-1-7	テルハ(鎖動横行形電気チェーンブロック)
第6章 沈砂池設備工事	第1節 ゲート設備	3-1-1	鋳鉄製ゲート
		3-1-2	鋼鉄製ゲート
	第2節 除じん機械設備	3-2-1	機械スクリーン
		3-2-2	連続式自動除じん機
		3-2-3	間欠式自動除じん機(回転アーム型)

章	節	ページ	機 器 名
第6章 沈砂池設備工事	第2節 除じん機械設備	3-2-4	裏かき式連続自動除じん機
		3-2-5	ベルト走行式自動スクリーン
		3-2-6	脱水機構付円筒スクリーンユニット
		3-2-7	脱水機構付裏かきスクリーンユニット
		3-2-8	脱水機構付ドラム状スクリーンユニット
	第3節 搬出設備	3-3-1	集じん用ベルトコンベヤ
		3-3-2	スキップホイスト
		3-3-3	ホッパ
	第4節 揚砂機設備	3-4-1	グラブ式揚砂機
		3-4-2	バケットコンベヤ式揚砂機
		3-4-3	噴射式揚砂装置 揚砂機
		3-4-4	噴射式揚砂装置 集砂装置
		3-4-5	噴射式揚砂機用 沈砂分離機
		3-4-6	噴射式揚砂装置 加圧水ポンプ (陸上ポンプ)
		3-4-7	噴射式揚砂装置 加圧水ポンプ (水中ポンプ)
		3-4-8	噴射式揚砂装置 加圧水タンク (鋼板製)
		3-4-9	噴射式揚砂装置 加圧水タンク (パネルタンク)
		3-4-10	スクリー式沈砂かき寄せ機
	第5節 沈砂処理設備	3-5-1	沈砂洗浄装置(フライトコンベヤ)
		3-5-2	羽根車かくはん式 (機械攪拌式) 洗浄装置
		3-5-3	洗浄水かくはん式洗浄装置
		3-5-4	サイクロン
		3-5-5	洗浄機(ドラム回転式)
	第6節 スクリーンかす洗浄脱水装置	3-6-1	スクリーンかす洗浄装置 (機械攪拌式)
		3-6-2	しさ洗浄機 (圧力水噴射式)
		3-6-3	破碎機(ドラム回転式)
		3-6-4	しさ脱水機(ローラ式)
		3-6-5	しさ脱水機(スクリー式)
		3-6-6	しさ脱水機(二軸対向スクリー式)
第7章 反応槽用送風機 設備工事	第1節 送風機設備	4-1-1	直結式 多段ターボブロワ
		4-1-2	ロータリ (ルーツ式) ブロワ
	ブロワ用弁類	4-2-1	逆止弁 (空気用)
		4-2-2	電動仕切弁
		4-2-3	バタフライ弁
	ブロワの補助機器類	4-3-1	冷却水ポンプ (渦巻ポンプ)
		4-3-2	冷却水ポンプ (水中 ポンプ)
		4-3-3	冷却塔
		4-3-4	集中強制潤滑設備 (潤滑油タンク)
		4-3-5	集中強制潤滑設備 (潤滑油ポンプ)
		4-3-6	集中強制潤滑設備 (潤滑油冷却器)
		4-3-7	集中強制潤滑設備 (潤滑油ヘッドタンク)
		4-3-8	自動空気ろ過装置 (乾式自動巻取型)
		4-3-9	自動空気ろ過装置 (乾式自動清掃型)
	電動機設備	4-4-1	高圧電動機
		4-4-2	低圧電動機

章	節	ページ	機 器 名
第8章 沈殿池、反応槽 沈澄池設備工事	第1節 沈殿池及び沈澄池用汚泥 かき寄せ設備	5-1-1	汚泥かき寄せ機 (ステンレス鋼製かき寄せチエ-ン)
		5-1-2	汚泥かき寄せ機 (合成樹脂製かき寄せチエ-ン)
		5-1-3	矩形池用手動パイプスキマ
		5-1-4	矩形池用電動パイプスキマ
		5-1-5	無動力式スカム除去装置
	第2節 沈殿池汚泥採取設備	5-2-1	汚泥採取配管 (偏心構造弁)
		5-2-2	沈殿池汚泥ポンプ
	第3節 沈澄池汚泥採取設備	5-3-1	沈澄池汚泥採取装置 (越流弁採取方式)
		5-3-2	沈澄池汚泥採取装置 (直接ポンプ採取方式)
		5-3-3	返送汚泥ポンプ
		5-3-4	余剰汚泥ポンプ
	第4節 反応槽設備	5-4-1	散気設備
		5-4-2	水中機械式かくはん機
		5-4-3	水上機械式かくはん機
	第5節 付帯設備	5-5-1	配管廊内排水ポンプ
	第6節 ゲート設備	5-6-1	反応槽用流量調整ゲート
第9章 汚泥処理設備工事	第1節 濃縮前処理設備	6-1-1	濃縮前処理機械スクリーン
		6-1-2	濃縮前処理沈砂分離装置
	第2節 汚泥濃縮槽汚泥かき寄せ機	6-2-1	汚泥濃縮槽汚泥かき寄せ機
	第3節 機械濃縮機	6-3-1	機械濃縮機
	第4節 汚泥遠心脱水機	6-4-1	汚泥遠心脱水機
	第5節 汚泥ポンプ設備	6-5-1	スクルー式うず巻ポンプ
		6-5-2	一軸偏心式ポンプ
		6-5-3	無閉塞形汚泥ポンプ
	第6節 薬液ポンプ設備	6-6-1	一軸偏心式ポンプ
		6-6-2	ダイヤフラム形定量ポンプ
	第7節 汚泥ケーキ移送ポンプ設備	6-7-1	一軸偏心式ポンプ
第10章 脱臭設備工事	第1節 脱臭設備	7-1-1	脱臭塔 (活性炭吸着式)
		7-1-2	脱臭塔 (生物脱臭式)
		7-2-1	脱臭ファン
		7-3-1	脱臭ダクト
その他	(1) 鋼製架台	8-1-1	鋼製架台類
	(2) 配管	8-2-1	配管施工関連
	(3) 設備全般	8-2-3	設備全般

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(主ポンプ)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 横軸渦巻ポンプ

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は、確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 油面計・圧力計は見やすい位置にあるか。(油仕様を記入したか)
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ ポンプの給油量は適量か。
- ☐ 各ドレン配管(ケーシングドレン等)は側溝まで配管しているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ 回転部の保護、巻き込み防止等の対策を行ったか。(回転体は、黄色等塗装)
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面を処理をしたか)

3. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。
- ☐ メッキ製品のキズ・ムラ・バリ等はないか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(主ポンプ)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 立軸渦巻ポンプ(2床式)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は、確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 油面計・圧力計は見やすい位置にあるか。(油仕様を記入したか)
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ ポンプの給油量は適量か。
- ☐ 各ドレン配管(ケーシングドレン等)は側溝まで配管しているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ 回転部の保護、巻込み防止等の対策を行ったか。(回転体は、黄色等塗装)
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)

3. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。
- ☐ メッキ製品のキズ・ムラ・バリ等はないか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(主ポンプ)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 横軸斜流ポンプ

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は、確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 油面計・圧力計は管理動線から見やすい位置にあるか。(油仕様を記入したか)
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ ポンプの給油量は適量か。
- ☐ 各ドレン配管(ケーシングドレン等)は側溝まで配管しているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ 回転部の保護、巻き込み防止等の対策を行ったか。(回転体は、黄色等塗装)
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)

3. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。
- ☐ メッキ製品のキズ・ムラ・バリ等はないか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(主ポンプ)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 立軸斜流ポンプ

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は、確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 油面計・圧力計は管理動線から見やすい位置にあるか。(油仕様を記入したか)
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ ポンプの給油量は適量か。
- ☐ 各ドレン配管(ケーシングドレン等)は側溝まで配管しているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ 回転部の保護、巻込み防止等の対策を行ったか。(回転体は、黄色等塗装)
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)

3. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。
- ☐ メッキ製品のキズ・ムラ・バリ等はないか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(主ポンプ)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 減速機搭載型立軸斜流ポンプ

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は、確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 油面計・圧力計は管理動線から見やすい位置にあるか。(油仕様を記入したか)
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ ポンプの給油量は適量か。
- ☐ 各ドレン配管(ケーシングドレン等)は側溝まで配管しているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ 回転部の保護、巻き込み防止等の対策を行ったか。(回転体は、黄色等塗装)
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)

3. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。
- ☐ メッキ製品のキズ・ムラ・バリ等はないか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(主ポンプ)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 全速全水位先行待機形立軸斜流ポンプ

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は、確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 油面計・圧力計は見やすい管理動線から位置にあるか。(油仕様を記入したか)
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ ポンプの給油量は適量か。
- ☐ 各ドレン配管(ケーシングドレン等)は側溝まで配管しているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ 回転部の保護、巻き込み防止等の対策を行ったか。(回転体は、黄色等塗装)
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)

3. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。
- ☐ メッキ製品のキズ・ムラ・バリ等はないか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第1節 主ポンプ設備(水中ポンプ)	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 着脱式水中汚水ポンプ(口径150mm以上)

1. 本体

- ☐ 吊り上げ用チェーン及び動力ケーブルの掛け金具(SUS304)を取り付けたか。
- ☐ 吊り上げチェーンシャックル部は緩み止めの措置をしたか。
- ☐ 端子箱の位置は適正か。
- ☐ 端子箱または壁面等にポンプの副銘板を取り付けているか。
- ☐ 端子箱内の防湿のための貫通部措置はできているか。
- ☐ 吊用等のチェーン及びケーブルの張りは、ポンプ等に接触せず適正か。
- ☐ 余長ケーブルは切断または強固に結束固定してあるか。
- ☐ 余長ケーブルの長さはピットから取出すのに十分か。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。
- ☐ 通水後の取付、取外しの作業がスムーズにできるか。
- ☐ 床排水ポンプの吐出配管には25A以上のブロー管を設ける。
- ☐ 着脱部の装着確認をしたか。
- ☐ 吊り上げ方法を明記しているか。
- ☐ ポンプ中心まで天井クレーン等の寄り付きは可能か。
- ☐ 着脱装置付水中汚水ポンプの吊上チェーンの落下防止措置を施したか。
- ☐ 空気抜弁ドレン配管は、側溝まで配管しているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 圧力計・圧カスイッチは、見やすい位置にあるか、またドレン配管は適切か。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(水平、傾き)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第1節 主ポンプ設備(水中ポンプ)	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 着脱式水中汚水ポンプ(口径150mm未満80mm以上)

1. 本体

☐	吊り上げ用チェーン及び動力ケーブルの掛け金具(SUS304)を取り付けたか。
☐	吊り上げチェーンシャックル部は緩み止めの措置をしたか。
☐	端子箱の位置は適正か。
☐	端子箱または壁面等にポンプの副銘板を取り付けているか。
☐	端子箱内の防湿のための貫通部措置はできているか。
☐	吊用等のチェーン及びケーブルの張りは、ポンプ等に接触せず適正か。
☐	余長ケーブルは切断または強固に結束固定してあるか。
☐	余長ケーブルの長さはピットから取出すのに十分か。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。
☐	通水後の取付、取外しの作業がスムーズにできるか。
☐	床排水ポンプの吐出配管には25A以上のブロー管を設ける。
☐	着脱部の装着確認をしたか。
☐	吊り上げ方法を明記しているか。
☐	ポンプ中心まで天井クレーン等の寄り付きは可能か。
☐	着脱装置付水中汚水ポンプの吊上チェーンの落下防止措置を施したか。
☐	空気抜弁ドレン配管は、側溝まで配管しているか。
☐	機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
☐	圧力計・圧力スイッチは、見やすい位置にあるか、またドレン配管は適切か。

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。(水平、傾き)
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(水中ポンプ)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 吸込スクリー付水中ポンプ

1. 本体

☐	吊り上げ用チェーン及び動力ケーブルの掛け金具(SUS304)を取り付けたか。
☐	吊り上げチェーンシャックル部は緩み止めの措置をしたか。
☐	端子箱の位置は適正か。
☐	端子箱または壁面等にポンプの副銘板を取り付けているか。
☐	端子箱内の防湿のための貫通部措置はできているか。
☐	吊用等のチェーン及びケーブルの張りは、ポンプ等に接触せず適正か。
☐	余長ケーブルは切断または強固に結束固定してあるか。
☐	余長ケーブルの長さはピットから取出すのに十分か。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上がり状態は良いか。(左官仕上がり状況・ヘアークラックが無い)
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。
☐	取付、取外しの作業がスムーズにできるか。
☐	吊り上げ方法を明記しているか。
☐	ポンプ中心まで天井クレーン等の寄り付きは可能か。
☐	着脱装置付水中汚水ポンプの吊上チェーンの落下防止措置を施したか。
☐	空気抜弁ドレン配管は、側溝まで配管しているか。
☐	機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
☐	圧力計・圧カスイッチは、見やすい位置にあるか、またドレン配管は適切か。

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。(水平、傾き)
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備（弁類）

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 ： 電動バタフライ弁

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 開度計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 電動－手動の切換は確実にできるか。
- ☐ 手動ハンドルの操作に支障はないか。
- ☐ バルコン部にサポートを取付けたか。（必要時）
- ☐ 回転方向は、確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 弁体軸及び流れの方向は適切か。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ 軸受ドレン排水は側溝まで、設けてあるか。
- ☐ 異種管接続部は、絶縁したか。
- ☐ 弁類(約0.2t以上)は単体にて支持する。

3. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色（PL法関連）が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 開閉ハンドルの開閉矢印に色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備（弁類）

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 電動仕切弁

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 開度計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 電動－手動の切換は確実にできるか。
- ☐ 手動ハンドルの操作に支障はないか。
- ☐ バルコン部にサポートを取付けたか。(必要時)
- ☐ 回転方向は、確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 流れ方向は適切か。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ 軸受ドレン排水は側溝まで、設けてあるか。
- ☐ 異種管接続部は、絶縁したか。
- ☐ 弁類(約0.2t以上)は単体にて支持する

3. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 開閉ハンドルの開閉矢印に色塗りをしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備（弁類）

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 逆止め弁

1. 本体

- ☐ 流れ方向は適切か。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ 軸受ドレン排水は側溝まで、設けてあるか。
- ☐ 異種管接続部は、絶縁したか。
- ☐ 弁類(約0.2t以上)は単体にて支持する

2. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 開閉矢印に色塗りしたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備（弁類）

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : フラップ弁

1. 本体

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ☐ | 流れ方向は適切か。 |
| ☐ | 取付ボルトの増し締めは完了したか。 |
| ☐ | 軸受ドレン排水はあるか。 |
| ☐ | 異種管接続部は、絶縁したか。 |
| ☐ | 弁類(約0.2t以上)は単体にて支持する |

2. 塗装

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。 |
| ☐ | 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。 |

3. その他

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ☐ | 施工管理記録は作成したか。 |
| ☐ | 清掃は完了したか。 |

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備（歯車減速機）

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 平行軸歯車減速機

1. 本体

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。(油ポンプ必要時)
- ☐ 端子ボックスカバーの取外しスペースは確保しているか。(油ポンプ必要時)
- ☐ 油面計・温度計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 潤滑油ユニットの給油量は適量か。油仕様は明記したか。
- ☐ 油圧配管の酸洗い及びフラッシングは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)

2. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施工チェックシート

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第1節 主ポンプ設備（歯車減速機）	点検実施日	平成	年	月	日
	点検者名	印			
	施工場所				

機 器 名 稱 : 遊星齒車減速機

1. 本体

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。(油ポンプ必要時) |
| ☐ | 端子ボックスカバーの取外しスペースは確保しているか。(油ポンプ必要時) |
| ☐ | 油面計・温度計は見やすい位置にあるか。 |
| ☐ | 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。) |
| ☐ | 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。 |
| ☐ | 潤滑油ユニットの給油量は適量か。油仕様は明記したか。 |
| ☐ | 油圧配管の酸洗い及びフラッシングは完了したか。 |
| ☐ | アンカーボルトの増し締めは完了したか。 |
| ☐ | モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い) |
| ☐ | ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか) |

2. 涂装

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。 |
| ☐ | 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。 |
| ☐ | 回転方向の矢印は色塗りしたか。 |

3. その他

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ☐ | 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度) |
| ☐ | 清掃は完了したか。 |

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備 (歯車減速機)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 立軸傘歯車減速機

1. 本体

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。(油ポンプ必要時)
- ☐ 端子ボックスカバーの取外しスペースは確保しているか。(油ポンプ必要時)
- ☐ 油面計・温度計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 潤滑油ユニットの給油量は適量か。油仕様は明記したか。
- ☐ 油圧配管の酸洗い及びフラッシングは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)

2. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(歯車減速機)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 流体継手付傘歯車減速機(充排油形)

1. 本体

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。(油ポンプ必要時)
- ☐ 端子ボックスカバーの取外しスペースは確保しているか。(油ポンプ必要時)
- ☐ 油面計・温度計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 潤滑油ユニットの給油量は適量か。油仕様は明記したか。
- ☐ 油圧配管の酸洗い及びフラッシングは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)

2. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(歯車減速機)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 流体継手付傘歯車減速機(可変速形)

1. 本体

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。(油ポンプ必要時)
- ☐ 端子ボックスカバーの取外しスペースは確保しているか。(油ポンプ必要時)
- ☐ 油面計・温度計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 潤滑油ユニットの給油量は適量か。油仕様は明記したか。
- ☐ 油圧配管の酸洗い及びフラッシングは完了したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)

2. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施工チェックシート

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第1節 主ポンプ設備（電動機）	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 電動機(主ポンプ用)

1. 本体

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。 |
| ☐ | 端子ボックスカバーの取外しスペースは確保しているか。 |
| ☐ | 温度計は見やすい位置にあるか。 |
| ☐ | グリス給油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか)。 |
| ☐ | 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。 |
| ☐ | 潤滑油ユニットの給油量は適量か。 |
| ☐ | 油圧配管の酸洗及びフラッシングは完了したか。 |
| ☐ | アンカーボルトの増し締めは完了したか。 |
| ☐ | モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い) |
| ☐ | ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか) |
| ☐ | 電動機と始動抵抗器間の配線施工は確認したか。 |

2. 塗装

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。 |
| ☐ | 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。 |
| ☐ | 回転方向の矢印は色塗りしたか。 |

3. その他

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ☐ | 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度) |
| ☐ | 清掃は完了したか。 |

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(電動機)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 始動制御器

1. 本体

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取外しスペースは確保しているか。
- ☐ 温度計は見やすい位置にあるか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)
- ☐ 電動機と始動抵抗器間の配線施工は確認したか。

2. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(電動機)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 始動抵抗器(金属抵抗器)

1. 本体

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取外しスペースは確保しているか。
- ☐ 温度計は見やすい位置にあるか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)
- ☐ 電動機と始動抵抗器間の配線施工は確認したか。

2. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(電動機)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 始動抵抗器(液体抵抗器)

1. 本体

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取外しスペースは確保しているか。
- ☐ 温度計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 注液・配液作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排液バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 液体抵抗器ユニットの電解液量は適量か。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)
- ☐ 電動機と始動抵抗器間の配線施工は確認したか。

2. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心ずれ、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第1節 主ポンプ設備（ディーゼル機関）	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 ： ディーゼル機関(主ポンプ駆動用)

1. 本体

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
☐	エンジンカバーの取外しスペースは確保しているか。
☐	計器類は管理動線から見やすい位置にあるか。(圧力計・流れスイッチ)
☐	排油作業は容易に行えるスペースがあるか。
☐	排油バルブにプラグまたはキャップは付いているか。
☐	回転部の保護、巻き込み防止等の対策を行ったか。(回転体は、黄色等塗装)
☐	潤滑油ユニットの給油量は適量か。
☐	油圧配管の酸洗及びフラッシングは完了したか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)

2. 塗装

☐	機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
☐	機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
☐	回転方向の矢印は色塗りしたか。

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。(心出し、高さ、水平度)
☐	官公庁への届出書類はあるか。(危険物・大防法)
☐	試運転記録は、作成したか。(騒音・振動)
☐	保護装置の確認を行ったか。
☐	燃料油は納入したか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第1節 主ポンプ設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 横形二軸式ガスタービン(主ポンプ駆動用)

1. 本体

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取外しスペースは確保しているか。
☐	計装器類は管理動線から見やすい位置にあるか。
☐	排油作業は容易に行えるスペースがあるか。
☐	排油バルブにプラグまたはキャップは付いているか。
☐	潤滑油ユニットの給油量は適量か。
☐	燃料・空気配管の酸洗及びフラッシングは完了したか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)

2. 塗装

☐	機器は指定色が塗布され、回転物等に注意喚起色(PL法関連)が塗布されているか。
☐	機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
☐	回転方向の矢印は色塗りしたか。

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。(心出し、高さ、水平度)
☐	官公庁への届出書類はあるか。(経産省・消防署)
☐	制御盤のケーブル引込み部の防火区画は十分か。
☐	制御盤内に図面(配線図、シーケンス等)は入っているか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第1節 主ポンプ設備(補助機器類)	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 給水ポンプ(片吸込み渦巻きポンプ)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 各ドレン配管(ケーシングドレン等)は側溝まで配管したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無いか)(共通床盤)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)
- ☐ 回転部の保護、巻き込み防止等の対策を行ったか。(回転体は、黄色等塗装)

3. 塗装

- ☐ 水上部SS材には指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印・カップリングカバーは色塗りしたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心出し、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第1節 主ポンプ設備(補助機器類)	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 給水ポンプ(水中モータポンプ)

1. 本体

☐	吊り上げ用チェーン及び動力ケーブルの掛け金具(SUS304)を取り付けたか。
☐	吊り上げチェーンシャックル部は緩み止めの措置をしたか。
☐	吊チェーン末端部を固定したか。
☐	ケーブルの張りは適正か。
☐	余長ケーブルは切断又は強固に結束固定してあるか。
☐	余長ケーブルの長さはピットから取り出すのに充分か。
☐	端子箱の位置は適正か。
☐	端子箱または壁面等にポンプの銘板を取り付けているか。
☐	端子箱内の防湿の為の貫通部措置は出来ているか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処置をしたか)
☐	回転方向は確認したか
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。
☐	水中用水ポンプの吊上チェーンの落下防止措置を施したか。
☐	取付取り外しの作業がスムーズに出来るか。
☐	圧力計・スイッチは、管理動線から見やすい位置にあるか。

2. 塗装

☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。
--------------------------	-------------------

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。(水平度、傾き)
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備(補助機器類)

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 給水ポンプ(着脱式水中モータポンプ)

1. 本体

- ☐ 吊り上げ用チェーン及び動力ケーブルの掛け金具(SUS304)を取り付けたか。
- ☐ 吊り上げチェーンシャックル部は緩み止めの措置をしたか。
- ☐ 吊チェーン末端部を固定したか。
- ☐ ケーブルの張りは適正か。
- ☐ 余長ケーブルは切断又は強固に結束固定してあるか。
- ☐ 余長ケーブルの長さはピットから取り出すのに充分か。
- ☐ 端子箱の位置は適正か。
- ☐ 端子箱または壁面等にポンプの銘板を取り付けているか。
- ☐ 端子箱内の防湿の為の貫通部措置は出来ているか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処置をしたか)
- ☐ 回転方向は確認したか
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。
- ☐ 着脱装置付水中用水ポンプの吊上チェーンの落下防止措置を施したか。
- ☐ 取付取り外しの作業がスムーズに出来るか。
- ☐ 圧力計・スイッチは見やすい位置にあるか。

2. 塗装

- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(水平度・傾き)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第1節 主ポンプ設備(補助機器類)	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 真空ポンプ

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブル接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 各ドレン配管(ケーシングドレン等)は側溝まで配管したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無いか)(共通床盤)
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処理をしたか)
- ☐ 回転部の保護、巻き込み防止等の対策を行ったか。(回転体は、黄色等塗装)

3. 塗装

- ☐ 水上部SS材には指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は管理動線から見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印・カップリングカバーは色塗りしたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。(心出し、高さ、水平度)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備（補助機器類）

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 始動用空気圧縮機

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)
- ☐ 回転方向は確認したか
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。
- ☐ 取付取り外しの作業がスムーズに出来るか。
- ☐ 消音器の取り付け位置はよいか。

2. 本体

- ☐ ベルトの緊張度を正しく調整したか。ベルト仕様を明記しているか。
- ☐ 車輪固定金具は取り付けたか。
- ☐ ドレン配管は側溝まで配管したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。

3. 塗装

- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 第2種圧力容器構造規格の合格証はあるか。
- ☐ 官公庁への届出はあるか。(騒音・振動)
- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第1節 主ポンプ設備(補助機器類)	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 始動用空気槽

1. 本体

☐	ドレン配管は側溝まで配管したか。
☐	計装器類の取り付け位置は良いか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処置をしたか)

2. 塗装

☐	指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。(据付)
☐	第2種圧力容器構造規格の合格証はあるか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第1節 主ポンプ設備(補助機器類)	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 燃料小出槽

1. 本体

☐	液面計は見やすい位置にあるか。
☐	ドレン管、ドレン弁は取り付けられているか。常時開閉札をとりつけたか。
☐	小出槽と配管との接続部には可とう管がついているか、また適切なサポートがあるか。
☐	小出槽の周りに防油堤があるか。
☐	防油堤内の排水柵は油が流出しない構造の柵となっているか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置)

2. 塗装

☐	機器は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称及びタンク有効容量は見やすい位置に書いたか。

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	官公庁への届出書類はあるか。(危険物・消防)
☐	消防届出関連の表示板に必要事項が記入されているか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 4 章 主ポンプ設備工事
第1節 主ポンプ設備（補助機器類）

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 高架水槽

1. 本体

- ☐ 流れ方向は間違いないか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処置はしたか)
- ☐ ドレン配管の位置は良いか。

2. 塗装

- ☐ 機器は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第2節 燃料貯蔵設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 燃料貯留タンク(地下式)

1. 本体

☐	液面計・漏洩検知・貯留量は見やすい位置にあるか。
☐	タンクと配管との接続部には可とう管が付いているか、また適切なサポートがあるか。
☐	配管貫通部のモルタル充填は十分か。
☐	タンクバンドの固定状態はよいか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)
☐	埋設配管に施したペトロラタム系防食テープが地上露出部約10cmまで施されているか。
☐	乾燥砂は転圧したか。

2. その他

☐	施工管理記録は作成したか。(水平・垂直度)
☐	官公庁への届出書類はあるか。(消防・段階確認)
☐	消防届出関連の表示板に必要事項が記入されているか。
☐	清掃は完了したか。
☐	水張り・気密試験を行い、記録を取ったか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 4 章 主ポンプ設備工事 第1節 主ポンプ設備(補助機器類)	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 燃料貯留タンク(地上定置式)

1. 本体

☐	液面計は見やすい位置にあるか。
☐	ドレン管、ドレン弁は取り付けられているか。
☐	タンクと配管との接続部には可とう管がついているか、また適切なサポートがあるか。
☐	タンクの周りに防油堤があるか。
☐	防油堤内の排水柵は油が流出しない構造の柵となっているか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。(左官仕上げ状況・ヘアークラックが無い)
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面処置をしたか)

2. 塗装

☐	機器は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称及びタンク有効容量は見やすい位置に書いたか。

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。(据付・水平度)
☐	官公庁への届出書類はあるか。
☐	消防届出関連の表示板に必要事項が記入されているか。
☐	清掃は完了したか。
☐	水張り試験を行い、記録を取ったか。

施工チェックシート

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 5 章 天井クレーン等設備工事
第1節 天井クレーン等設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 普通形天井クレーン

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	横行、走行、吊り上げ方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	横行、走行レールに車輪止めを取付けたか。
☐	フックが最低位置のときに、ワイヤーロープが2巻以上ドラムに残っているか。
☐	操作チェーンの長さは適切(FL+30cm程度)か。
☐	作動状況標示板は、運転者の見やすい場所にあるか。
☐	電源表示灯、運転表示灯は見やすい位置に取り付けられているか。
☐	チェーン掛け金具を取付けたか。
☐	給油装置のグリスは給油口から軸受まで充填されているか。

3. 塗装

☐	指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置にあるか。
☐	吊り荷重・方位表示をしたか。

4. その他

☐	横行、走行表示はあるか。
☐	施工管理記録は作成したか。
☐	官公庁への届出書類はあるか。(労基署)
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 5 章 天井クレーン等設備工事
第1節 天井クレーン等設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : ホイスト式天井クレーン(ダブルレール)

1. 駆動装置

- ☐ 横行、走行レールに車輪止めを取付けたか。
- ☐ ワイヤーにグリスを塗布しているか。
- ☐ ワイヤーがキンクしていないか。
- ☐ 昇降方向は確認したか。また、ストッパーは正常か。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 横行、走行レールに車輪止めを取付けたか。
- ☐ 操作ペンダントスイッチの長さは適切か。(FL+30cm程度)
- ☐ 操作ペンダントスイッチ掛け金具を取付けたか。

3. 塗装

- ☐ 指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置にあるか。
- ☐ 吊り荷重・方位表示をしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 官公庁への届出書類はあるか。(必要時)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 5 章 天井クレーン等設備工事
第1節 天井クレーン等設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : ホイスト式天井クレーン(シングルレール)

1. 駆動装置

- ☐ 横行、走行レールに車輪止めを取付けたか。
- ☐ 操作チェーンの長さは適切か。(FL+30cm程度)
- ☐ チェーン掛け金具を取付けたか。
- ☐ 昇降方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 横行、走行レールに車輪止めを取付けたか。
- ☐ 操作チェーンの長さは適切か。(FL+30cm程度)
- ☐ チェーン掛け金具を取付けたか。

3. 塗装

- ☐ 指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置にあるか。
- ☐ 吊り荷重・方位表示をしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 官公庁への届出書類はあるか。(必要時)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 5 章 天井クレーン等設備工事
第1節 天井クレーン等設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : テルハ(電動横行形)

1. 駆動装置

- ☐ 横行レールにストッパはあるか。
- ☐ 横行、昇降方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 横行レールにストッパはあるか。

3. 塗装

- ☐ SS材は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置にあるか。
- ☐ 吊り荷重・方位表示をしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 官公庁への届出書類はあるか。(必要時)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 5 章 天井クレーン等設備工事
第1節 天井クレーン等設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : テルハ(鎖動横行形)

1. 駆動装置

- ☐ 横行レールにストッパはあるか。
- ☐ 横行、昇降方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 横行レールにストッパはあるか。

3. 塗装

- ☐ SS材は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置にあるか。
- ☐ 吊り荷重・方位表示をしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 官公庁への届出書類はあるか。(必要時)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 5 章 天井クレーン等設備工事
第1節 天井クレーン等設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : テルハ(電動横行形電気チェーンブロック)

1. 駆動装置

- ☐ 横行レールにストッパはあるか。
- ☐ 横行、昇降方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 横行レールにストッパはあるか。

3. 塗装

- ☐ SS材は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置にあるか。
- ☐ 吊り荷重・方位表示をしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 官公庁への届出書類はあるか。(必要時)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 5 章 天井クレーン等設備工事
第1節 天井クレーン等設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : テルハ(鎖動横行形電気チェーンブロック)

1. 駆動装置

- ☐ 横行レールにストッパはあるか。
- ☐ 横行、昇降方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 横行レールにストッパはあるか。

3. 塗装

- ☐ SS材は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置にあるか。
- ☐ 吊り荷重・方位表示をしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 官公庁への届出書類はあるか。(必要時)
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第1節 ゲート設備	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">点検実施日</td> <td style="width: 20%;">平成</td> <td style="width: 20%;">年</td> <td style="width: 20%;">月</td> <td style="width: 20%;">日</td> </tr> <tr> <td>点検者名</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">印</td> </tr> <tr> <td>施工場所</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>	点検実施日	平成	年	月	日	点検者名	印				施工場所				
点検実施日	平成	年	月	日												
点検者名	印															
施工場所																

機 器 名 称 : 鋳鉄製ゲート

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 開度計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 電動－手動の切換は確実にできるか。
- ☐ 手動ハンドルの操作に支障はないか。
- ☐ 開閉方向は確認したか。
- ☐ 開度計の指針は「全開」「全閉」位置で正しく調整してあるか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ スピンドルネジ部にグリースを塗布したか。
- ☐ 止水面のスキミ調整を行ったか。
- ☐ 開度計は見やすい位置にあるか。(手動、ギヤ式の場合)
- ☐ 手動操作でゲートを全閉してストッパーボルトの位置が適切か。
- ☐ スピンドルに取付けられた閉状態確認用の指示板は、正しく調整されているか。
- ☐ スピンドルと扉体の固定用止めナットに緩み止め措置はされているか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ 開閉装置は、150N以内か。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置をしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部SS材は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 開閉ハンドルの開閉矢印に色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 手動操作でスピンドルとスラブの干渉はないか。
- ☐ 清掃は完了したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)

第 6 章 沈砂池設備工事

第1節 ゲート設備

点検実施日 平成 年 月 日

点検者名 印

施工場所

機 器 名 称 : 鋼鉄製ゲート

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 開度計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 電動－手動の切換は確実に行えるか。
- ☐ 手動ハンドルの操作に支障はないか。
- ☐ 開閉方向は確認したか。
- ☐ 開度計の指針は「全開」「全閉」位置で正しく調整してあるか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ スピンドルネジ部にグリースを塗布したか。
- ☐ 止水面のスキミ調整を行ったか。
- ☐ 開度計は見やすい位置にあるか。(手動、ギヤ式の場合)
- ☐ 手動操作でゲートを全閉してストッパーボルトの位置が適切か。
- ☐ スピンドルに取付けられた閉状態確認用の指示板は、正しく調整されているか。
- ☐ スピンドルと扉体の固定用止めナットに緩み止め措置はされているか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ 開閉装置は、150N以内か。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置をしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部SS材は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 開閉ハンドルの開閉矢印に色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 手動操作でスピンドルとスラブの干渉はないか。
- ☐ 清掃は完了したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第2節 除じん設備	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">点検実施日</td> <td style="width: 15%;">平成</td> <td style="width: 15%;">年</td> <td style="width: 15%;">月</td> <td style="width: 15%;">日</td> </tr> <tr> <td>点検者名</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">印</td> </tr> <tr> <td>施工場所</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>	点検実施日	平成	年	月	日	点検者名	印				施工場所				
点検実施日	平成	年	月	日												
点検者名	印															
施工場所																

機 器 名 称 : 機械スクリーン

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	減速機油面計は見やすい位置にあるか。また、油の種類を表示したか。
☐	防潮高より上に設置しているか。
☐	除じん用チェーンテークアップ代に見合うスライド幅はあるか。
☐	排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
☐	排油バルブにプラグ(赤色)またはキャップ(赤色)はついているか。
☐	減速機の給油量は適量か。また、油の種類は表示したか。
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	駆動チェーン及びかき揚げ用チェーンの緊張度を正しく調整したか。
☐	チェーン緊張度調整後、テークアップ代に余裕はあるか。
☐	チェーンにグリースを塗布したか。
☐	集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
☐	給油ポンプには行き先表示をしたか。
☐	点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
☐	テークアップに緩み止め措置はされているか。
☐	レーキとスクリーンの干渉はないか。
☐	レーキがエプロン部に接触していないか。
☐	レーキ・ワイパは、逆転時にも支障とならないか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置をしたか)

3. 塗装

☐	水上部・水中部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。
☐	給油配管のフラッシングを行ったか。

4. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	カバー内スラブは、しきり付着防止用に傾斜板またはモルタル仕上げを行ったか。
☐	運転時に、カバー等から異音、振動が発生していないか。
☐	点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
☐	水路内検査を受検したか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第2節 除じん設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 連続式自動除じん機

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 防潮高より上に設置しているか。
- ☐ 除じん用チェーンテークアップ代に見合うスライド幅はあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。また、油の種類は表示したか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 駆動チェーン及びかき揚げ用チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- ☐ チェーン緊張度調整後、テークアップ代に余裕はあるか。
- ☐ チェーンにグリースを塗布したか。
- ☐ 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- ☐ 給油ポンプには行き先表示をしたか。
- ☐ 点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
- ☐ テークアップに緩み止め措置はされているか。
- ☐ レーキとスクリーンの干渉はないか。
- ☐ レーキがエプロン部に接触していないか。
- ☐ レーキ・ワイパは、逆転時にも支障とならないか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置をしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部・水中部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 給油配管のフラッシングを行ったか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ カバー内スラブは、しきり付着防止用に傾斜板またはモルタル仕上げを行ったか。
- ☐ 運転時に、カバー等から異音、振動が発生していないか。
- ☐ 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- ☐ 水路内検査を受検したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第2節 除じん設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 ： 間欠式自動除じん機(回転アーム式)

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	減速機油面計は見やすい位置にあるか。
☐	防潮高より上に設置しているか。
☐	除じん用チェーンテークアップ代に見合うスライド幅はあるか。
☐	排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
☐	排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
☐	減速機の給油量は適量か。また、油の種類は表示したか。
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	駆動チェーン及びかき揚げ用チェーンの緊張度を正しく調整したか。
☐	チェーン緊張度調整後、テークアップ代に余裕はあるか。
☐	チェーンにグリースを塗布したか。
☐	集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
☐	給油ポンプには行き先表示をしたか。
☐	点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
☐	テークアップに緩み止め措置はされているか。
☐	レーキとスクリーンの干渉はないか。
☐	レーキがエプロン部に接触していないか。
☐	ワイパは、逆転時にも支障とならないか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置をしたか)

3. 塗装

☐	水上部・水中部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。
☐	給油配管のフラッシングを行ったか。

4. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	カバー内スラブは、しさ付着防止用に傾斜板またはモルタル仕上げを行ったか。
☐	運転時に、カバー等から異音、振動が発生していないか。
☐	点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
☐	水路内検査を受検したか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第2節 除じん設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 裏かき式連続自動除じん機

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 防潮高より上に設置しているか。
- ☐ 除じん用チェーンテークアップ代に見合うスライド幅はあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。また、油の種類は表示したか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 駆動チェーン及びかき揚げ用チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- ☐ チェーン緊張度調整後、テークアップ代に余裕はあるか。
- ☐ チェーンにグリースを塗布したか。
- ☐ 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- ☐ 給油ポンプには行き先表示をしたか。
- ☐ 点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
- ☐ テークアップに緩み止め措置はされているか。
- ☐ レーキとスクリーンの干渉はないか。
- ☐ レーキがエプロン部に接触していないか。
- ☐ レーキ・ワイパは、逆転時にも支障とならないか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置をしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部・水中部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 給油配管のフラッシングを行ったか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ カバー内スラブは、しさ付着防止用に傾斜板またはモルタル仕上げを行ったか。
- ☐ 運転時に、カバー等から異音、振動が発生していないか。
- ☐ 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- ☐ 水路内検査を受検したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第2節 除じん設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 ：ベルト走行式自動スクリーン

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	減速機油面計は見やすい位置にあるか。
☐	排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
☐	排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
☐	減速機の給油量は適量か。
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	駆動チェーンの緊張度を正しく調整したか。
☐	チェーンにグリースを塗布したか。
☐	集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
☐	給油ポンプには行き先表示をしたか。
☐	点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
☐	テークアップに緩み止め措置はされているか。
☐	グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。
--------------------------	-------------------

4. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第2節 除じん設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 ：脱水機構付円筒スクリーンユニット

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	油圧タンクの油面計は見やすい位置にあるか。
☐	排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
☐	排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
☐	油圧タンクの給油量は適量か。
☐	油圧配管の酸洗及びフラッシングは完了したか。
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

☐	水上部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。

4. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	制御盤のケーブル引込み部のシールは十分か。
☐	制御盤内に図面(配線図、シーケンス等)は入っているか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第2節 除じん設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 ：脱水機構付裏かきスクリーンユニット

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	油圧タンクの油面計は見やすい位置にあるか。
☐	排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
☐	排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
☐	減速機の給油量は適量か。また、油の種類を表示したか。
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	駆動チェーン及びかき揚げ用チェーンの緊張度を正しく調整したか。
☐	チェーンにグリースを塗布したか。
☐	グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
☐	点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

☐	水上部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。
☐	回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	制御盤のケーブル引込み部のシールは十分か。
☐	制御盤内に図面(配線図、シーケンス等)は入っているか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第2節 除じん設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 ：脱水機構付ドラム状スクリーンユニット

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 油圧タンクの油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 駆動チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- ☐ チェーンにグリースを塗布したか。
- ☐ 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- ☐ 給油ポンプには行き先表示をしたか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェックシート

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第3節 搬出設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 集じん用ベルトコンベヤ

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 駆動用チェーンテークアップ代に見合うスライド幅はあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。また、油の種類は表示したか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 駆動チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- ☐ ゴムベルト緊張度調整後、テークアップ代に余裕はあるか。
- ☐ チェーンにグリースを塗布したか。
- ☐ 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- ☐ 給油ポンプには行き先を表示したか。
- ☐ グリースガンの場合グリースニップルは統一し作業しやすい所に配置したか。
- ☐ 防臭カバーは取り外し可能な構造か。
- ☐ 防臭カバーの点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
- ☐ 非常停止装置用ワイヤは両側全長に渡り取り付けられているか、表示板は取り付けられているか。
- ☐ ワイヤにキンクはないか。端末処理はなされているか。
- ☐ 蛇行検出用サイドローラリミットスイッチは作動時にカバーとの干渉はないか。
- ☐ スカート用ゴム板とベルトの間隔調整は行ったか。
- ☐ 自動調芯ローラとスカート用ボルト等との干渉はないか。
- ☐ スクレーパの調整は完了したか。
- ☐ テークアップの緩み防止措置はされているか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェック シート

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第3節 搬出設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : スキップホイスト

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- ☐ 給油ポンプには行き先を表示したか。
- ☐ グリースガンの場合グリースニップルは統一し作業しやすい所に配置したか。
- ☐ 各リミットスイッチの取付位置は適切か。
- ☐ ワイヤにキンクはないか。端末処理はなされているか。
- ☐ 上昇・下降逸走防止ストッパ取り付け位置は適切か。
- ☐ 点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
- ☐ 下部ピット内のリミットスイッチの点検は可能か。
- ☐ 下部ピット底部は、モルタルにて勾配をつけて仕上げられているか。
- ☐ 下部ピット底部の配水管接続部には釜場を設け格子蓋を取り付けたか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされている
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第3節 搬出設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : ホ ッ パ

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 圧力タンクの給油量は適量か。
- ☐ 油圧配管の酸洗及びフラッシングは完了したか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ ホッパ室に車止めは設置されているか、位置は適切か、トラックの案内線は引いてあるか。
- ☐ 飛散防止カバー及び受といは搬出車両の進入に障害とならないか。
- ☐ シリンダーストローク調整リミットスイッチの位置調整が可能な設備があるか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ 受といは簡単・確実に清掃できる構造に成ってるか。
- ☐ アーチング防止対策は講じているか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ ホッパー内面は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。制限高さ表示があるか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ ロードセル現場調整の試験成績表を作成したか。
- ☐ 制御盤のケーブル引込み部のシールは十分か。
- ☐ 制御盤内に図面(配線図、シーケンス等)は入っているか。
- ☐ 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされている
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第4節 揚砂機設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : グラブ式揚砂機

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- ☐ 給油ポンプには行き先を表示したか。
- ☐ グリースガンの場合グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
- ☐ バケツは円滑に開閉するか。
- ☐ グラブバケツが最低位置のときに、ワイヤーロープが2巻以上ドラムに残っているか。
- ☐ ワイヤにキンクはないか。末端処理はなされているか。
- ☐ 走行レールにストッパはあるか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 官公庁への届出書類はあるか。(必要時)
- ☐ 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- ☐ 清掃は完了したか。

#

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第4節 揚砂機設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 噴射式揚砂装置(揚砂機)

1. 本体

- | | |
|--------------------------|-------------------------------------|
| ☐ | アンカーボルトの増し締めは完了したか。 |
| ☐ | モルタルの仕上げ状態は良いか。 |
| ☐ | 取付ボルトの増締めは完了したか。 |
| ☐ | ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか) |
| ☐ | 掘削ノズル取付角度は良いか。 |

2. その他

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ☐ | 機器名称は見やすい位置に書いたか。 |
| ☐ | 清掃は完了したか。 |

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第4節 揚砂機設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 噴射式揚砂装置(集砂装置)

1. 本体

- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)
- ☐ 集砂ノズル取付角度は良いか。

2. その他

- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第4節 揚砂機設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 噴射式揚砂機用 沈砂分離機

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 駆動チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- ☐ チェーンにグリースを塗布したか。
- ☐ 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- ☐ 給油ポンプには行き先を表示したか。
- ☐ グリースガンの場合グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第4節 揚砂機設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 噴射式揚砂装置 加圧ポンプ(陸上ポンプ)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 各ドレン配管(ケーシングドレン等)は側溝まで配管したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 清掃は完了したか。

施工チェックシート

共通仕様書(下水道施設機械編)

第 6 章 沈砂池設備工事

第4節 揚砂機設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機器名称：噴射式揚砂装置 加圧ポンプ(水中ポンプ)

1. 駆動装置

☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	吊り上げ用チェーン及び動力ケーブルの掛け金具(SUS304)を取り付けたか。
☐	ケーブルの張りは適正か。
☐	余長ケーブルは切断又は強固に結束固定してあるか。
☐	端子箱の高さは適正か。(原則として床上1.2m以上)
☐	端子箱または壁面等にポンプの銘板を取り付けているか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. その他

☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。
☐	清掃は完了したか。

施工チェックシート

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第4節 揚砂機設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 噴射式揚砂装置 加圧水タンク(鋼板製)

1. 本体

☐	液面計は見やすい位置にあるか。
☐	ドレン配管は側溝まで配管したか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

2. 塗装

☐	水上部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第4節 揚砂機設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 噴射式揚砂装置 加圧水タンク(パネルタンク)

1. 本体

- ☐ 液面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ ドレン配管は側溝まで配管したか。
- ☐ タンクと配管との接続部には可とう管がついているか、また適切なサポートがあるか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

2. 塗装

- ☐ 機器名称及びタンク容量は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第4節 揚砂機設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : スクリュー式沈砂かき寄せ機

1. 駆動装置

- ☐ 端子箱の位置、寸法及び向きはケーブル接続に支障ないか。電気設備と調整したか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 減速機の排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 減速機の排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。
- ☐ セットボルトの緩み防止措置(スプリングワッシャー等)は考慮されているか。

2. 本体

- ☐ 軸継ぎ手のボルトは確実に締結したか。
- ☐ スクリューの接続部は、確実に接続したか。
- ☐ 水中ギヤボックスへのシール水配管は、シール水タンクから水中ギヤボックスまで、確実に接続されているか。
- ☐ 水中ギヤボックスへの注水量の調整を行ったか。
- ☐ シール水配管はユニオンを用いて分解できるような位置で施工しているか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)
- ☐ 電気設備と現場操作盤の設置位置の調整を行ったか。
- ☐ 現場操作盤を機械設備の架台上に設置する場合、電気設備から盤の外形図・重量・重心位置等の資料提示を受け、機械設備の架台上で転倒防止の補強を行ったか。
- ☐ 二次側配線工事において、周辺の機器及び配管の干渉、維持管理等を検討したか。
- ☐ 過負荷防止用過電流検出器の設定電流について電気設備と調整したか。

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 既設物損傷箇所(モルタル欠損、手すりの損傷等)の復旧は行ったか。
- ☐ 池底コンクリートにはく離はないか。
- ☐ 池底コンクリート打設後、コンクリートの急激な乾燥を避ける措置を行ったか。
- ☐ 本体、床、水路、駆動部等の清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第5節 沈砂処理設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 沈砂洗浄装置(フライトコンベヤ)

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	減速機油面計は見やすい位置にあるか。
☐	排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
☐	排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
☐	減速機の給油量は適量か。
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	駆動チェーン及びかき揚げ用チェーンの緊張度を正しく調整したか。
☐	チェーンにグリースを塗布したか。
☐	集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
☐	給油ポンプには行き先を表示したか。
☐	グリースガンの場合グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
☐	点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
☐	洗浄配管分岐弁は調整が容易に行える位置にあるか。
☐	空気配管は、停電時に逆流を防止するように配管されているか。
☐	テークアップに緩み止め措置はさてれいるか。
☐	掻き寄せゴム板と底盤は干渉していないか。(逆転時含む)
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

☐	水上部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。
☐	回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第5節 沈砂処理設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 羽根車かくはん式(機械攪拌式)洗浄装置

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ Vベルト等の緊張度を正しく調整したか。
- ☐ 洗浄槽からの漏水はないか。
- ☐ グリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- ☐ グリースガンの場合グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第5節 沈砂処理設備	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : 洗浄水かくはん式洗浄装置

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	減速機油面計は見やすい位置にあるか。
☐	排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
☐	排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
☐	減速機の給油量は適量か。
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	洗浄ノズルから圧力水が適切に噴出するか
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

☐	水上部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。
☐	回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)

第 6 章 沈砂池設備工事

第5節 沈砂処理設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : サイクロン

1. 本体

- ☐ 調整アダプタの分離組立が容易にできる配管になっているか。
- ☐ 取付ボルトの増し締めは完了したか。

2. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- ☐ 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第5節 沈砂処理設備

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 洗浄機(ドラム回転式)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 駆動チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- ☐ チェーンにグリースを塗布したか。
- ☐ グリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- ☐ 給油ポンプには行き先を表示したか。
- ☐ グリースガンの場合グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
- ☐ 点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
- ☐ 運転を行いドラム回転部から異常音がないか。洗浄配管分岐弁は調整が容易に行える位置か。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部SS材は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第6節 スクリーンかす洗浄脱水装置

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : スクリーンかす洗浄装置(洗浄槽用機械スクリーン)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ Vベルト、駆動チェーン及びかき揚げ用チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- ☐ チェーンにグリースを塗布したか。
- ☐ 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- ☐ 給油ポンプには行き先を表示したか。
- ☐ グリースガンの場合グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
- ☐ 点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
- ☐ テークアップに緩み止め措置はされているか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第6節 スクリーンかす洗浄脱水装置

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : しさ洗浄機(圧力水噴射式)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ ノズルから圧力水が適切に噴出するか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第6節 スクリーンかす洗浄脱水装置

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 破碎機(ドラム回転式)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 減速機の給油量は適量か。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ グリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- ☐ グリースガンの場合グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
- ☐ 運転を行いドラム回転部から異常音がないか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部SS材は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第6節 スクリーンかす洗浄脱水装置	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : しさ脱水機(ローラ式)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 減速機・油圧ユニットの油面計は見やすい位置にあるか。
- ☐ 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- ☐ 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- ☐ 油圧ユニットまたは減速機の給油量は適量か。
- ☐ 油圧配管の酸洗及びフラッシングは完了したか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 駆動チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- ☐ チェーンにグリースを塗布したか。
- ☐ 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- ☐ 給油ポンプには行き先を表示したか。
- ☐ グリースガンの場合グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
- ☐ 点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
- ☐ 運転を行いローラ部から異常音・異常振動がないか。
- ☐ ローラ部スクレーパ取り付け角度調整は良いか。
- ☐ 圧力計器類は見やすい位置か。
- ☐ 本体は、搬入しやすい位置か。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 水上部は指定色が塗布されているか。
- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- ☐ 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第6節 スクリーンかす洗浄脱水装置	点検実施日	平成 年 月 日
	点検者名	印
	施工場所	

機 器 名 称 : しさ脱水機(スクリュース式)

1. 駆動装置

☐	端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
☐	端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
☐	減速機油面計は見やすい位置にあるか。
☐	排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
☐	排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
☐	回転方向は確認したか。
☐	運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

☐	駆動チェーンの緊張度を正しく調整したか。
☐	チェーンにグリースを塗布したか。
☐	集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
☐	給油ポンプには行き先を表示したか。
☐	グリースガンの場合グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
☐	油圧ユニットの油面計は見やすい位置にあるか。
☐	油圧ユニットの給油量は適量か。
☐	排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
☐	排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
☐	油圧配管の酸洗及びフラッシングは完了したか。
☐	点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
☐	アンカーボルトの増し締めは完了したか。
☐	モルタルの仕上げ状態は良いか。
☐	ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

☐	水上部は指定色が塗布されているか。
☐	機器名称は見やすい位置に書いたか。
☐	回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

☐	施工管理記録は作成したか。
☐	点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
☐	清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 6 章 沈砂池設備工事
第6節 スクリーンかす洗浄脱水装置

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : しさ脱水機(二軸対向スクリー式)

1. 駆動装置

- ☐ 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- ☐ 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- ☐ 回転方向は確認したか。
- ☐ 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ☐ 運転を行いスクリー部から異常音・異常振動がないか。
- ☐ 点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
- ☐ アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ☐ モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ☐ ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- ☐ 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- ☐ 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- ☐ 施工管理記録は作成したか。
- ☐ 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- ☐ 清掃は完了したか。